

精神19

電気痙攣療法延べ人数【入院:全麻】

電気痙攣療法1.マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔 の算定件数(入院)		
電気痙攣療法延べ人数【入院:全麻】= -----		
1 病院(1期:3ヶ月)あたり		
電気痙攣療法延べ人数【入院:全麻】とは	電気痙攣療法は重うつ病、躁病、緊張病型統合失調症などの治療に行われる場合があります。	
指標の説明	電気痙攣療法は、重症うつ病や躁病で薬物療法が無効な場合や、緊張病型統合失調症に劇的な効果が期待できます。修正型電気痙攣療法を行うには麻酔科医の確保が必須です。より高い値を目指しています。	
計算について	参考としたガイドライン等	なし
	データ除外	なし
	補正などの計算方法	なし
	データ基準日	2026年4月25日
考察	データ登録病院が1つ増加したが、平均値(0を除く)(48.6から60.5)、中央値(15.5から23.9)が2024年度より明らかに増加している、新たに登録した病院の影響に加えて、一医療機関あたりの実施件数が増加している可能性がある。	

医療の質・医療安全指標の評価・公表等推進事業

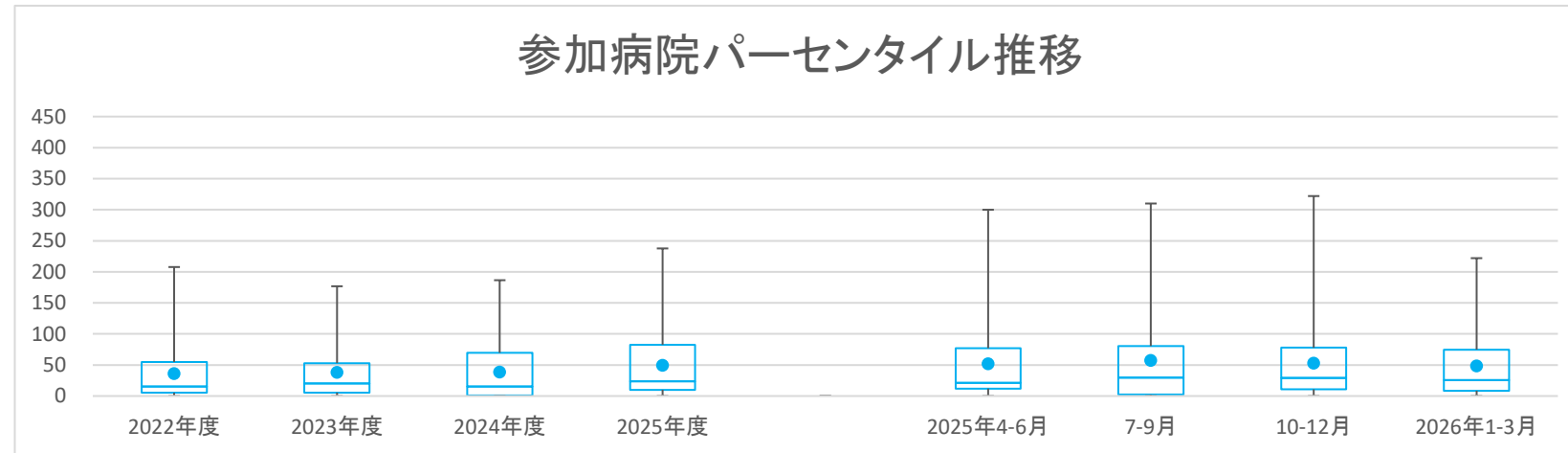
精神19

電気痙攣療法延べ人数【入院:全麻】

データのまとめ	対象病院群	総合病院精神科有床、精神科単科							
	調査期間	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年4-6月	7-9月	10-12月	2026年1-3月
	データ登録病院数	42	45	47	48	45	46	44	44
	分母合計	157	164	162	174	45	46	44	44
	75パーセンタイル	54.8	53.0	69.6	82.6	77.0	80.5	77.8	74.8
	中央値	15.1	20.0	15.5	23.9	21.0	29.5	29.0	25.5
	25パーセンタイル	5.2	5.5	0.8	10.1	12.0	2.3	10.8	8.5
	平均値	36.0	37.8	38.3	49.1	52.1	57.2	52.8	48.5
	平均値(0を除く)	45.8	47.3	48.6	60.5	61.7	71.1	66.3	60.9

【時系列】●は平均値、他は上方から最大値、75パーセンタイル値、中央値、25パーセンタイル値、最小値

(2016年4月開始)



【直近データ分布】



